

GUITAR AMPLIFIER
VX SERIES
55

取扱説明書

ごあいさつ

このたびは、YAMAHA ギターアンプVX55をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

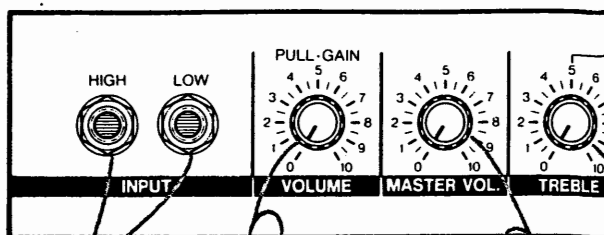
VX55は、50WR.M.S.のマスターボリューム方式・ビルトイン型ギターアンプです。ファッションブルなデザインに加え、全域をブーストするブルゲイン、細かなセッティングを可能にする3バンドイコライザー、深みのあるサウンドをつくるファットスイッチなど豊富な機能を装備したVX55はあなたのギタープレイを存分にバックアップすることでしょう。

洗練された性能をフルに発揮させると共に、長年支障なくお使いいただくためにこの取扱説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。

ご注意

- 電気ギターとアンプを接続するときは、必ずギター側を先に接続し、次にアンプ側を接続してください。逆に接続しますと、スピーカーをいためる場合があります。
- 接続コードの脱着時や、電源のON/OFF時には、必ずアンプのMASTER VOLUMEを反時計方向にまわし、音量を絞ってください。
- 電源は必ずAC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続してください。
- 物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱い、製品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。
- 安全のため、落雷のおそれのあるときは、コンセントから電源プラグを抜きとってください。
- 雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは十分に離して使用してください。

コントロールパネル



① INPUT

HIGH :

ギターは、通常この端子に接続します。

高感度、高インピーダンスのため、ディストーションサウンドが得やすく、トーンもブライトになります。

LOW :

低感度、低インピーダンスのため、HIGH INPUTに比べて音量のレベルは低く、ディストーションの少ないソフトなサウンドになります。ハイレベルアウトのギターやキーボードなどは、通常この端子に接続します。

※HIGH/LOW INPUT へ同時に2本のギターを接続した場合は、HIGH/LOW INPUTともHIGH INPUT (高感度) となります。

② PULL-GAIN/VOLUME

音量とディストーションのコントロールをするつまみです。

“10”(時計方向)に回すほど音量が上がり、ディストーションのかかり方もハードになります。また、つまみを手前に引くとINPUT信号を全域にわたって+19dB(約9倍)増強するためさらにハードなディストーション効果が得られます。

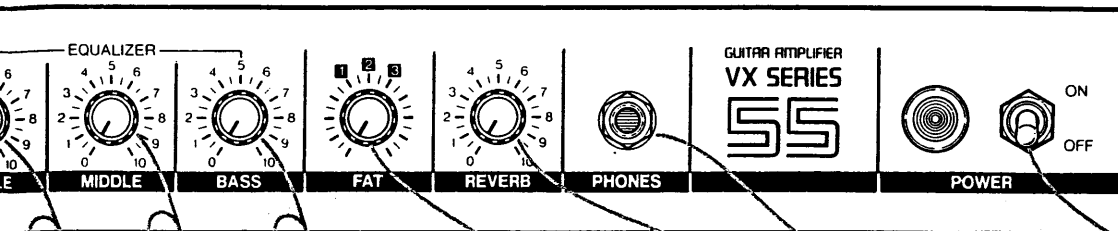
※つまみ位置“0”では音は出ません。

③ MASTER VOLUME

ディストーションの状態や音色をほとんど変えずに音量のみをコントロールするつまみです。

セッティングは、まずこのつまみを目盛“1”~“2”程度にしておき、PULL-GAIN/VOLUMEでディストーションのかかり具合を調節した後、再びこのMASTER VOLUMEつまみで音量を調節します。

※つまみ位置“0”では音は出ません。



EQUALIZER

④ TREBLE

高域をコントロールするつまみです。つまみが「5」の状態ではノーマルなサウンドが得られ、「10」側(時計方向)に回すほど高域がブーストされ、シャープなサウンドになります。またつまみを「0」側(反時計方向)に回すほど高域がカットされて、マイルドなサウンドになります。

⑤ MIDDLE

中域をコントロールするつまみです。つまみが「5」の状態ではノーマルなサウンドが得られ、「10」側(時計方向)に回すほど中域がブーストされ、豊かでメリハリのあるサウンドになります。またつまみを「0」側(反時計方向)に回すほど中域がカットされて繊細で控えめなサウンドになります。

⑥ BASS

低域をコントロールするつまみです。つまみが「5」の状態ではノーマルなサウンドが得られ、「10」側(時計方向)に回すほど低域がブーストされ、ヘビーなサウンドになります。またつまみを「0」側(反時計方向)に回すほど低域がカットされて、タイトなサウンドになります。

※EQUALIZERつまみすべてが「0」の状態では音は出ません。

⑦ FAT

中域をブーストする3ポジションのファットスイッチです。「1」の状態がノーマル、2で軽いブースト、3で強いブースト効果がそれぞれ得られます。中域をブーストすると、腰の太い深みのあるサウンドになるため、セミアコなどを使用する場合に最も効果的です。

⑧ REVERB

残響効果のコントロールをするつまみです。つまみが「0」の状態ではナチュラルなサウンドが得られ、「10」側(時計方向)に回すほど残響効果が加わり、ライブな音になります。

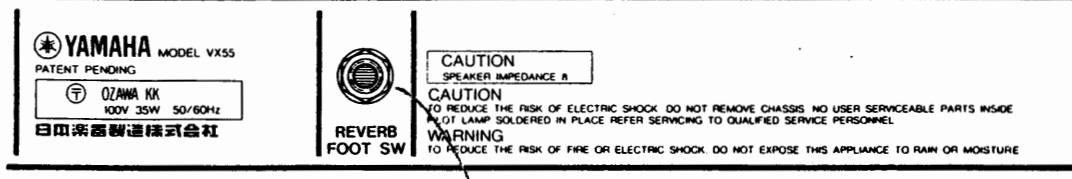
⑨ PHONES

ライブステージなどで自分の音がわからないときのチューニングにヘッドホンを使うと便利です。夜など大きな音を出せないときはヘッドホンをプラグインしてプレイしてください。
※ヘッドホンを使用するとスピーカーから音は出なくなります。

⑩ POWER

スイッチONすると電源が入り、パイロットランプが点灯します。ハム・雑音が多い場合は、電源プラグを反対に差し替えてください。このとき、パワースイッチはOFFしてから行なってください。

リアパネル



① REVERB FOOT SW

フットスイッチ接続用の端子です。
演奏をしながら、足もとでリバーブのON/OFFができます。



これは電子機械工業
会「音のエンタクト」
キャンペーンのシン
ボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

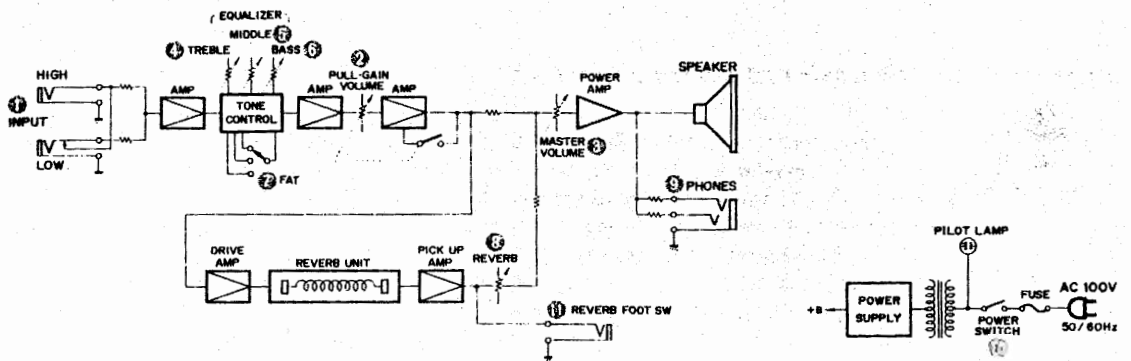
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるもの
です。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな
夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁
などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけて
しまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音
楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な
生活環境を守りましょう。

仕様

定格出力	50Wrms(8Ω, T.H.D. 3%)
スピーカー	YAMAHA JA3111(30cm)×1
入力端子	HIGH GAIN×1、LOW GAIN×1
入力感度(1kHz)	NORMAL HIGH -37dB(11mV)
VOLUME	LOW -25dB(44mV)
MAS.VOL. } max.	PULL GAIN HIGH -56dB(1.2mV)
EQ.VOL. }	LOW -44dB(5mV)
ノイズ	-55dB(PULL GAIN, VOLUME→max. MAS.VOL→min.) -37dB(NORMAL, VOLUME→max. MAS.VOL→max.) -23dB(PULL GAIN, VOLUME→max. MAS.VOL→max.)
リバーブ	スプリング式 YAMAHA JH00012
コントロール	PULL, GAIN/VOLUME, MAS. VOL、 TREBLE, MIDDLE, BASS, FAT, REVERB、 POWER SWITCH
フットスイッチジャック	リバーブON/OFF
ヘッドホンジャック	-8dB(0.3V) @50W(インピーダンス8Ω)
電流	AC100V、50/60Hz
消費電力	35W
寸法	521(W)×452(H)×207(D)mm
重量	14.5kg
付属品	ビニールカバー

*仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ブロックダイアグラム



サービスのご依頼について

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。) また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う1年間の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実質を預蔵させていただくこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますよう充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種の種類や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。又お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは日本楽器電音サービスステーションにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1年間の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。

そのほかご不明の点などございましたら、お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点 〔お客様ご相談窓口〕

東京電音サービスセンター	☎(044)434-3100	〒211 川崎市中原区本月1184
新潟電音サービスステーション	☎(0252)43-4321	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F
大阪電音サービスセンター	☎(06)877-5262	〒565 吹田市新岸屋下1-16 千里丘センター内
福岡電音サービスステーション	☎(0878)51-7777 (0878)22-3045	〒760 高松市丸龜町8-7 高松店内
名古屋電音サービスセンター	☎(052)652-2228	〒454 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 日本楽器名古屋流通センター
九州電音サービスセンター	☎(092)472-2134	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
広島電音サービスステーション	☎(082)874-3787	〒731-01 広島市安佐南区紙町西原2205-3
北海道電音サービスセンター	☎(011)781-3621	〒065 札幌市東区本町1条9-3
仙台電音サービスセンター	☎(0222)96-0249	〒983 仙台市加町5-7 仙台卸商共配センター3F
浜松電音サービスステーション	☎(0534)56-9211	〒430 浜松市東伊場2-13-12

〔お預り修理窓口〕

東京電音サービスデポ	☎(044)434-3100	〒211 川崎市中原区本月1184
大阪電音サービスデポ	☎(06)877-5262	〒565 吹田市新岸屋下1-16 千里丘センター内
名古屋電音サービスデポ	☎(052)652-2230	〒454 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 日本楽器名古屋流通センター
九州電音サービスデポ	☎(092)472-2134	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
北海道電音サービスデポ	☎(011)781-3621	〒065 札幌市東区本町1条9-3
仙台電音サービスデポ	☎(0222)96-0249	〒983 仙台市加町5-7 仙台卸商共配センター3F

〔本社〕

音楽技術課電音サービスセンター ☎(0534)65-1111 〒430 浜松市中沢町10-1

日本楽器製造株式会社

本社・工場 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL.0534(65)1111

